

# 受講生満足度調査(2020年度前期)の集計結果について

調査活動WG長 青木 宏光

## <はじめに>

2020年度前期は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面授業が基本的に禁止され、急遽、遠隔で授業を実施することとなりました。多くの教員が、知識も経験もサポートもない中、手探りで遠隔授業を準備し、実施されたことと存じます。教員にかなりの負担が掛かったことは想像に難くありませんが、限られた条件のもとで、学生の学修を手助けするためには何が必要で、何ができるのかを考えたこの経験は、これまでの常識や固定概念に囚われず、今後の教育を考えていく上での糧となってくれるものと信じております。学生達は教室で友人や教員と出会う機会を奪われ、不安な大学生活を送られたことと思いますが、そのことが大学で学ぶことの目的、意義を見つめ直す機会になったのではないかと考えております。

2004年よりFD活動の一環として、受講生の声を聴く「受講生満足度調査アンケート」を実施して参りました。2019年度には項目数を減らし、問いかける内容も現状の教育に合わせたものへと変更致しました。しかしながら、2020年度前期は授業が遠隔で実施されたため、アンケートも通常の紙媒体で行うことができず、急遽、Course Powerのアンケート機能を利用することと致しました。また、遠隔授業であるという前提のもと、質問内容を見直し、学生達の負担を減らすため、項目数をさらに減らすことと致しました。具体的には、授業外の学修時間を問うていたQ1には配信動画を視聴している時間などを含めた学修時間全体を問うこととし、各選択肢に1時間加える形に変更しました。また、Q3(音声情報)とQ4(視覚情報)は一つにまとめ、学生の学修状況が把握しにくいQ5(理解度の把握とそれに即した授業内容)、およびQ6(学生の授業への参加)を削除した形でアンケートを実施致しました。

## <回答数および回答分布>

まず、表1に受講生満足度調査を実施した科目数、履修者数、回答数、履修者数に対するアンケートの回収率を、共通教育科目、専門科目、授業区分毎にお示しします。通常は科目数と回答数のみをお示しするのですが、Web(Course Power)で行った場合の回収率を確認するため、このような形式にしております。紙媒体でアンケートを行っている場合、回収率は90%以上あります。2019年度前期は全体で、218科目にてアンケートを実施し、回答数も1万を少し越えておりましたが、2020年度前期、コロナ禍のため、アンケートを実施した科目数自体が179科目と減少しておりました。

アンケートをWeb(Course Power)で実施すると、回収率が大幅に低下するのではないかと危惧しておりましたが、平均では約70%の回収率があり、信頼できるデータが得られていると考えております。中には、回収率が30%未満の科目もごく僅かにございましたが、適切に指示すればWebを用いても回収率は問題ないと判断しております。

次に、表2~4に授業区分毎の設定内容とそれに対する回答数をお示しします。

表1 アンケート実施科目数、回答数と回収率

授業区分	共通教育科目				専門科目				計			
	科目数	履修者数	回答数	回収率	科目数	履修者数	回答数	回収率	科目数	履修者数	回答数	回収率
講義	20	1,780	1,243	69.8%	128	6,600	4,624	70.1%	148	8,380	5,867	70.0%
演習	6	235	181	77.0%	18	1,086	668	61.5%	24	1,321	849	64.3%
実験	-	-	-	-	7	291	240	82.5%	7	291	240	82.5%
計	26	2,015	1,424	70.7%	153	7,977	5,532	69.3%	179	9,992	6,956	69.6%

表2 講義科目の設定と回答数

<共通・専門 (n=5867)>

設問	6	5	4	3	2	1	無回答	平均	
	大変そう思う			まったくそう思わない					
1. 学生の自己評価	Q1. あなたは、この授業の学修を1週間で平均どの程度しましたか?ただし、学修時間には配信された動画などを視聴している時間も含まれます。	>5h 810 13.8%	4-5h 2,289 39.0%	3-4h 1,617 27.6%	2-3h 579 9.9%	1-2h 450 7.7%	<1h 122 2.1%	0	4.36
	Q2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思いますか?	199 3.4%	395 6.7%	722 12.3%	1,527 26.0%	2,405 41.0%	619 10.6%	0	2.74
2. 授業内容と教員の評価	Q3. 遠隔授業(動画配信、あるいはWEBを介した対話型授業)における教員の話し方や用意された資料は、理解しやすかったですか?	825 14.1%	2,173 37.0%	1,758 30.0%	757 12.9%	282 4.8%	72 1.2%	0	4.39
	Q4. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか?	1,092 18.6%	2,644 45.1%	1,620 27.6%	279 4.8%	175 3.0%	57 1.0%	0	4.69
3. 総合評価	Q5. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思いますか?	1,442 24.6%	2,757 47.0%	1,299 22.1%	206 3.5%	119 2.0%	44 0.7%	0	4.86

表3 演習科目の設定と回答数

<共通・専門 (n=849)>

設問	6	5	4	3	2	1	無回答	平均	
	大変そう思う			まったくそう思わない					
1. 学生の自己評価	Q1. あなたは、この授業の学修を1週間で平均どの程度しましたか?ただし、学修時間には配信された動画などを視聴している時間も含まれます。	>5h 151 17.8%	4-5h 260 30.6%	3-4h 197 23.2%	2-3h 157 18.5%	1-2h 68 8.0%	<1h 16 1.9%	0	4.26
	Q2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思いますか?	137 16.1%	190 22.4%	126 14.8%	135 15.9%	193 22.7%	68 8.0%	0	3.69
2. 授業内容と教員の評価	Q3. 遠隔授業(動画配信、あるいはWEBを介した対話型授業)における教員の話し方や用意された資料は、理解しやすかったですか?	167 19.7%	337 39.7%	229 27.0%	76 9.0%	36 4.2%	4 0.5%	0	4.60
	Q4. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか?	205 24.1%	394 46.4%	193 22.7%	25 2.9%	27 3.2%	5 0.6%	0	4.84
3. 総合評価	Q5. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思いますか?	273 32.2%	401 47.2%	135 15.9%	22 3.5%	13 1.5%	5 0.6%	0	5.04

表4 実験・実習科目の設問と回答数

&lt;共通・専門 (n=240)&gt;

設問	6 5 4 3 2 1						無回答	平均	
	大変そう思う			まったくそう思わない					
1. 学生の自己評価	Q 1. あなたは、この授業の学修を1週間で平均どの程度しましたか？ただし、学修時間には配信された動画などを視聴している時間も含まれます。	>5h 117 48.8%	4-5h 94 39.2%	3-4h 20 8.3%	2-3h 5 2.1%	1-2h 2 0.8%	<1h 2 0.8%	0	5.30
	Q 2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思えますか？	40 16.7%	23 9.6%	39 16.3%	86 35.8%	45 18.8%	7 2.9%	0	3.61
2. 授業内容と教員の評価	Q 3. 遠隔授業（動画配信、あるいはWEBを介した対話型授業）における教員の話し方や用意された資料は、理解しやすかったですか？	51 21.3%	107 44.6%	54 22.5%	21 8.8%	4 1.7%	3 1.3%	0	4.71
	Q 4. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか？	135 56.3%	75 31.3%	24 10.0%	4 1.7%	1 0.4%	1 0.4%	0	5.40
3. 総合評価	Q 5. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思えますか？	146 60.8%	76 31.7%	12 5.0%	5 2.1%	0 0.0%	1 0.4%	0	5.50

通常は、未記入のままアンケート用紙を提出する学生がごく僅かにいるのですが、Webでアンケートを実施すると、回答しないまま送信することがなくなる、ということが分かりました。

#### <アンケート結果の経年変化>

次に過去4年間のアンケート結果の経時変化を、授業区分毎に表5～7でお示しします。2019年度のアンケートを基準とし、「旧」の欄は2018年度まで用いていたアンケートでの質問内容に該当するものを対応させております。2020年度前期はQ3とQ4をまとめてQ3として、Q5とQ6が無くなりましたので、それにともなって、Q7、Q8の番号がずれて、それぞれQ4、Q5となっております。

表5 講義科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設問概要	旧	2016後期 (n=7249)	2017前期 (n=8330)	2017後期 (n=6926)	2018前期 (n=8667)	2018後期 (n=8325)	2019前期 (n=8715)	2019後期 (n=7063)	2020	2020前期 (n=5867)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q3	2.71	2.90	2.81	2.92	2.91	2.75	2.71	Q1	4.35
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q2	5.13	5.19	5.18	5.21	5.19	4.43	4.36	Q2	2.74
Q 3. 音声情報	Q8	5.06	5.12	5.16	5.15	5.16	4.86	4.77		
Q 4. 視覚情報	Q11	5.05	5.13	5.17	5.14	5.19	4.91	4.82	Q3	4.39
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q13	5.11	5.11	5.17	5.14	5.19	4.79	4.76	-	-
Q 6. 授業への参加	Q12	4.81	4.84	4.88	4.82	4.88	4.26	4.17	-	-
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	-	4.97	4.91	Q4	4.69
Q 8. 授業の感想	Q16	5.26	5.31	5.33	5.34	5.33	5.06	4.98	Q5	4.86

表6 演習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設問概要	旧	2016後期 (n=961)	2017前期 (n=1559)	2017後期 (n=669)	2018前期 (n=888)	2018後期 (n=1032)	2019前期 (n=1307)	2019後期 (n=1056)	2020	2020前期 (n=849)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q5	3.18	3.32	2.91	3.34	3.16	3.70	3.14	Q1	4.26
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q4	5.33	5.38	5.29	5.33	5.35	4.88	4.66	Q2	3.69
Q 3. 音声情報	Q8	5.13	5.22	5.20	5.18	5.20	5.17	4.94		
Q 4. 視覚情報	Q11	5.17	5.22	5.13	5.26	5.20	5.20	4.94	Q3	4.60
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q9	5.17	5.20	5.23	5.20	5.22	5.10	4.94	-	-
Q 6. 授業への参加	-	-	-	-	-	-	4.85	4.92	-	-
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	-	5.30	5.16	Q4	4.84
Q 8. 授業の感想	Q15	5.30	5.36	5.33	5.31	5.27	5.36	5.21	Q5	5.04

表7 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設問概要	旧	2016後期 (n=649)	2017前期 (n=375)	2017後期 (n=979)	2018前期 (n=346)	2018後期 (n=1088)	2019前期 (n=333)	2019後期 (n=730)	2020	2020前期 (n=240)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q5	3.45	3.59	3.47	3.68	3.58	3.40	3.65	Q1	5.30
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q4	5.54	5.53	5.51	5.52	5.53	4.76	5.02	Q2	3.61
Q 3. 音声情報	Q8	5.45	5.37	5.33	5.30	5.49	4.96	5.27		
Q 4. 視覚情報	Q11	5.36	5.28	5.28	5.25	5.41	4.87	5.18	Q3	4.71
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q9	5.48	5.36	5.34	5.36	5.48	4.96	5.25	-	-
Q 6. 授業への参加	-	-	-	-	-	-	5.23	5.35	-	-
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	-	5.24	5.36	Q4	5.40
Q 8. 授業の感想	Q15	5.68	5.61	5.53	5.47	5.60	5.20	5.41	Q5	5.50

遠隔で授業を行ったことで、学生の学修態度（Q1、Q2）に大きな変化が見られます。教室という特別な場所での緊張感や臨場感がなくなるためか、学修意欲（Q2）は著しく低下しております。一方、学修時間（Q1）は授業動画などを視聴している時間も含める質問内容で、各選択肢は以前のものに比べて1時間延長しているにも関わらず、数値が大きくなっております。後でも触れますが、講義、演習科目で約3.8時間、実験・実習科目では4.8時間の学修時間と推定されます。大学から大量の課題が送られてきて、以前のように外出することもできないため、自宅に籠もり動画を視聴しながら、なんとか課題をこなしている、という学生の姿が想像できます。

教員が用意した資料は、遠隔授業では分かりにくいと感じる学生が多いようで、ポイントが下がっております（Q3）。私は授業動画を作る際、話すスピードは普段の7割掛けくらいを心掛け、滑舌良く話すようにしましたが、そのことがかえって抑揚をなくし、公共放送を見ているような雰囲気にしてしまったのかもしれないと感じております。また、普段の会話だとほとんど気にならない「えー」、「えーっと」、「あー」といった無意味なつなぎ

言葉「フィラー」も動画になるとかなり気になってまいります。ある先生が「板書は教員の立ち位置や動作から、ここから書き始める、というのが学生に伝わり、そこを見る準備ができる。一方、動画のスライドはどこを見たら良いのか分からない場合がある」と仰っていましたが、授業動画の作成には、まだまだ多くの改善点が残っているのでしょう。

総合的な評価（Q4：行動の変化、Q5：満足度）は、理由は分からないのですが、実験・実習科目ではポイントが上がっております。一方、講義、演習科目ではQ1～Q3の回答から予測されたように、やはり下がっております。

<学修時間>

次に、学修時間の推定値の推移（過去4年間分）をお示しします。学修時間に関する設問で2019年度までは回答1：0時間、2：0.5時間、3：1.5時間、4：2.5時間、5：3.5時間、6：4.5時間と仮定し、2020年度前期は回答1：0.5時間、2：1.5時間、3：2.5時間、4：3.5時間、5：4.5時間、6：5.5時間と仮定して学修時間を推定しました。2019年度までは授業外の学修時間を、2020年度前期はトータルの学修時間を表します。

2020年度前期はトータルの学修時間を表していますので、単純には比較できませんが、90分の授業も、学生とのやり取りや教員の無駄話がなくなれば、1時間程度の動画になると考えられますので、仮に授業動画を視聴している時間を1時間とすると、2020年度前期は、従来よりも1時間以上、学修時間が延長していることを示しております。

また、2020年度前期のアンケートで回答1（学修時間1時間未満）を動画は見たが、それ以外は何もしなかった学生、回答2（学修時間が1～2時間）を、動画を見て1時間弱自主的に勉強した学生と仮定し、その割合を以前までのデータと比較したものを表9にお示しします。

表8 学修時間の推定値（単位：時間、過去4年間）

	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期	2019前期	2019後期	2020前期
	授業外							
講義	1.29	1.45	1.39	1.48	1.48	1.31	1.28	3.85
演習	1.74	1.87	1.48	1.88	1.73	2.23	1.68	3.76
実験・実習	1.96	2.10	2.00	2.20	2.10	1.94	2.16	4.80
	トータル							

表8の学修時間の延長にも現れているように、ほとんどの学生が自主的に、あるいは課題をこなすために半強制的にかもしませんが、学修している様子が窺えます。

表9 授業外学修が1時間未満の学生の割合（過去4年間）

	授業外学修	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期	2019前期	2019後期	2020前期
講義	0h	16.3%	11.0%	15.3%	12.2%	13.9%	11.3%	12.8%	2.1%
	0-1h	35.8%	34.1%	33.8%	33.0%	32.1%	38.3%	38.0%	7.7%
演習	0h	10.4%	10.2%	14.1%	8.9%	13.0%	7.3%	9.4%	1.9%
	0-1h	25.1%	24.7%	31.3%	22.9%	27.1%	20.4%	31.9%	8.0%
実験・実習	0h	3.1%	3.2%	6.0%	4.1%	4.1%	7.5%	2.3%	0.8%
	0-1h	22.7%	20.3%	21.7%	18.0%	21.5%	24.3%	17.4%	0.8%

<学修態度と総合評価>

最後に、学生の学修態度（Q1、Q2）とその他の評価の相関分布を、表10～12に授業区分毎にお示しします。いつもは総合評価（行動の変化、総合的な満足度）との相関をお示しているのですが、今回は質問項目数が少ないので、すべての質問との相関をお示しします。

表10 講義科目における学生の学修態度と評価の分布

	計	6・5群との差						平均	6・5群との差
		6	5	4	3	2	1		
Q1 (6・5)	3,099	大変そう思う						2.73	
		まったくそう思わない							
		101	130	346	994	1,310	218		
		3.3%	4.2%	11.2%	32.1%	42.3%	7.0%		
		620	1,438	737	227	66	11		
Q2 (6・5)	594	大変そう思う						5.07	
		まったくそう思わない							
		851	1,708	473	40	24	3		
		27.5%	55.1%	15.3%	1.3%	0.8%	0.1%		
		1,096	1,670	293	20	14	6		
Q1 (4・3)	2,196	大変そう思う						2.57	-0.16
		まったくそう思わない							
		58	143	208	483	998	306		
		2.6%	6.5%	9.5%	22.0%	45.4%	13.9%		
		130	578	882	444	135	27		
Q2 (4・3)	2,249	大変そう思う						4.30	-0.72
		まったくそう思わない							
		153	751	1,001	189	89	13		
		7.0%	34.2%	45.6%	8.6%	4.1%	0.6%		
		238	892	859	138	58	11		
Q1 (2・1)	572	大変そう思う						4.49	-0.73
		まったくそう思わない							
		238	892	859	138	58	11		
		10.8%	40.6%	39.1%	6.3%	2.6%	0.5%		
		40	122	168	50	97	95		
Q2 (2・1)	3,024	大変そう思う						3.43	0.70
		まったくそう思わない							
		75	157	139	86	81	34		
		13.1%	27.4%	24.3%	15.0%	14.2%	5.9%		
		88	185	146	50	62	41		
Q1 (6・5)	3,099	大変そう思う						4.11	-0.96
		まったくそう思わない							
		108	195	147	48	47	27		
		18.9%	34.1%	25.7%	8.4%	8.2%	4.7%		
		40	122	168	50	97	95		
Q2 (6・5)	594	大変そう思う						5.22	
		まったくそう思わない							
		348	1,180	1,046	258	130	62		
		11.5%	39.0%	34.6%	8.5%	4.3%	2.1%		
		385	1,066	941	399	181	52		
Q3 (6・5)	594	大変そう思う						4.30	-0.43
		まったくそう思わない							
		442	1,285	937	190	124	46		
		14.6%	42.5%	31.0%	6.3%	4.1%	1.5%		
		620	1,368	778	139	86	33		
Q4 (6・5)	594	大変そう思う						4.73	-0.56
		まったくそう思わない							
		566	1,126	455	62	29	11		
		25.8%	51.3%	20.7%	2.8%	1.3%	0.5%		
		348	1,180	1,046	258	130	62		
Q5 (6・5)	594	大変そう思う						3.74	
		まったくそう思わない							
		99	132	58	143	146	16		
		16.7%	22.2%	9.8%	24.1%	24.6%	2.7%		
		145	244	128	57	19	1		
Q1 (4・3)	2,196	大変そう思う						4.73	
		まったくそう思わない							
		221	280	79	8	6	0		
		37.2%	47.1%	13.3%	1.3%	1.0%	0.0%		
		256	263	66	5	4	0		
Q2 (4・3)	2,249	大変そう思う						5.18	
		まったくそう思わない							
		363	977	513	178	174	44		
		16.5%	44.5%	23.4%	8.1%	7.9%	2.0%		
		295	863	689	301	82	19		
Q3 (4・3)	2,249	大変そう思う						4.46	0.72
		まったくそう思わない							
		429	1,079	604	81	45	11		
		19.5%	49.1%	27.5%	3.7%	2.0%	0.5%		
		566	1,126	455	62	29	11		
Q4 (4・3)	2,249	大変そう思う						4.94	-0.35
		まったくそう思わない							
		429	1,079	604	81	45	11		
		19.5%	49.1%	27.5%	3.7%	2.0%	0.5%		
		566	1,126	455	62	29	11		
Q5 (4・3)	2,249	大変そう思う						4.39	0.65
		まったくそう思わない							
		348	1,180	1,046	258	130	62		
		11.5%	39.0%	34.6%	8.5%	4.3%	2.1%		
		385	1,066	941	399	181	52		
Q1 (2・1)	572	大変そう思う						4.30	-0.43
		まったくそう思わない							
		442	1,285	937	190	124	46		
		14.6%	42.5%	31.0%	6.3%	4.1%	1.5%		
		620	1,368	778	139	86	33		
Q2 (2・1)	3,024	大変そう思う						4.73	-0.56
		まったくそう思わない							
		620	1,368	778	139	86	33		
		20.5%	45.2%	25.7%	4.6%	2.8%	1.1%		
		348	1,180	1,046	258	130	62		

表11 演習科目における学生の学修態度と評価の分布

Q1 (6・5)	計	6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差	Q2 (6・5)	計	6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差		
																				大変そう思う	まったくそう思わない
Q1 (6・5)	411	Q2		59	51	53	92	116	40	3.33	327	Q1		67	43	67	109	37	4	3.94	
		Q3		76	174	108	34	17	2	4.61		Q3		103	132	63	18	11	0	4.91	
		Q4		114	203	71	10	11	2	4.96		Q4		100	183	34	3	6	1	5.12	
		Q5		152	191	56	8	2	2	5.16		Q5		138	165	15	4	4	1	5.30	
		Q5		37.0%	46.5%	13.6%	1.9%	0.5%	0.5%			Q5		42.2%	50.5%	4.6%	1.2%	1.2%	0.3%		
Q1 (4・3)	354	Q2		68	108	48	35	70	25	3.98	261	Q1		44	101	51	32	25	8	4.32	0.65
		Q3		75	130	101	33	14	1	4.61		Q3		33	99	87	30	11	1	4.42	-0.49
		Q4		72	158	100	11	12	1	4.75		Q4		50	110	78	11	10	2	4.66	-0.45
		Q5		96	173	65	12	7	1	4.95		Q5		68	120	62	6	4	1	4.92	-0.39
		Q5		27.1%	48.9%	18.4%	3.4%	2.0%	0.3%			Q5		26.1%	46.0%	23.8%	2.3%	1.5%	0.4%		
Q1 (2・1)	84	Q2		10	31	25	8	7	3	4.24	261	Q1		40	116	79	16	6	4	4.60	0.65
		Q3		16	33	20	9	5	1	4.51		Q3		31	106	79	28	14	3	4.39	-0.52
		Q4		19	33	22	4	4	2	4.63		Q4		55	101	81	11	11	2	4.66	-0.46
		Q5		25	37	14	2	4	2	4.85		Q5		67	116	58	12	5	3	4.84	-0.46
		Q5		29.8%	44.0%	16.7%	2.4%	4.8%	2.4%			Q5		25.7%	44.4%	22.2%	4.6%	1.9%	1.1%		

表12 実験・実習科目における学生の学修態度と評価の分布

Q1 (6・5)	計	6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差	Q2 (6・5)	計	6	5	4	3	2	1	平均	6・5群との差		
																				大変そう思う	まったくそう思わない
Q1 (6・5)	211	Q2		38	21	36	75	37	4	3.70	63	Q1		43	16	2	1	1	0	5.57	
		Q3		51	100	41	15	3	1	4.84		Q3		22	26	7	7	1	0	4.97	
		Q4		132	69	9	1	0	0	5.57		Q4		47	10	4	2	0	0	5.62	
		Q5		144	62	5	0	0	0	5.66		Q5		52	9	1	1	0	0	5.78	
		Q5		68.2%	29.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%			Q5		82.5%	14.3%	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%		
Q1 (4・3)	25	Q2		1	2	2	11	7	2	2.92	125	Q1		59	52	12	1	0	1	5.33	-0.24
		Q3		0	6	13	4	1	1	3.88		Q3		20	60	33	7	3	2	4.65	-0.32
		Q4		2	6	13	3	0	1	4.16		Q4		68	41	15	1	0	0	5.41	-0.21
		Q5		1	13	7	3	0	1	4.36		Q5		70	47	6	2	0	0	5.48	-0.30
		Q5		4.0%	52.0%	28.0%	12.0%	0.0%	4.0%			Q5		56.0%	37.6%	4.8%	1.6%	0.0%	0.0%		
Q1 (2・1)	4	Q2		1	0	1	0	1	1	3.25	52	Q1		15	26	6	3	1	1	4.92	-0.65
		Q3		0	1	0	2	0	1	3.00		Q3		9	21	14	7	0	1	4.56	-0.41
		Q4		1	0	2	0	1	0	4.00		Q4		20	24	5	1	1	1	5.12	-0.50
		Q5		1	1	0	2	0	0	4.25		Q5		24	20	5	2	0	1	5.21	-0.57
		Q5		25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%			Q5		46.2%	38.5%	9.6%	3.8%	0.0%	1.9%		

学修時間が長い学生ほど（Q1の6・5群）、また、意欲的に取り組んだ学生（Q2の6・5群）ほど、Q3～Q5の質問内容に対するポイントが高くなる傾向があります。意外だったのが、Q1とQ2の相関です。意欲的に取り組んでいる学生ほど、学修時間が長くなると考えていたのですが、講義、演習科目の（Q2の6・5群）の学生の学修時間は、（Q2の4・3群）や（Q2の2・1群）の学生の学修時間よりも短くなっておりま

<まとめ>

2020年度前期は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、遠隔で授業を実施し、それに伴い、アンケートもWeb（Course Power）を用いて実施致しました。アンケート結果から、学生の学修意欲が著しく低下していることが明らかになりました。対面授業なら自己管理能力が低い学生でも空間的、時間的制約の中で学ぶことによって半強制的に学修する場が設定されますが、その制約がない遠隔授業では強制力が働きません。我々教員もほとんどの方が初めての経験だったため、どのようにすべきか手探りの状態で、改善点も多々あるかと思ひます。ただ、この経験は我々教員に、教育には様々な手法があることを認識させてくれたと思ひております。遠隔授業では繰り返し学修によって理解が深まることや、チャット機能を使うと教室よりも質問が出やすいなどの利点がよく指摘されております。遠隔授業のこのような利点を活かしつつ、新しい教育体制を構築していければと考えております。

FD委員会では、受講生満足度調査だけに限らず、教員同士の評価、研修会など様々なプログラムを用意しております。教職員一丸となって教育方法を深化させるべく、今後ともFD活動へのご協力をお願い申し上げます。